

衆院予算委

# 水際措置 実績踏まえ対応

## 首相「変異株の知見蓄積」

岸田文雄首相は2日の衆院予算委員会で、新型コロナウイルス対策で実施している水際強化措置を巡り「オミクロン株の知見も蓄積されてきている。今後は国内外の感染状況をしっかりと見ながら、これまでの実績を踏まえて必要かつ適切な対応を行う」と述べた。

首相は、外国人の新規入国を原則禁止している水際強化措置の骨格を2月末まで維持する方針を表明している。

東京都などへの緊急事態宣言に関し、現時点では発令を検討していないと重ねて答弁した。6月をめどに

取りまとめる新型コロナウイルスに関する政府の中長期的対応について「緊急事態宣言の在り方は重要な論点になる」との認識を示した。

堀内詔子ワクチン接種推進担当相は、医療従事者約576万人の4〜5割がワクチンの3回目接種を終えたと説明。立憲民主党の奥野総一郎氏が遅いと指摘したのに対し「副反応を考えると一斉に打てない事情もある」と述べ、理解を求めた。

首相は憲法改正について「国会の議論と国民の理解は車の両輪であり、ともに進めていかなければならぬ」と強調。衆参両院憲法審査会での議論進展を促した。9条への自衛隊明記を含む自民党の改憲案4項目に触れ「これに基づいて憲法を改正していくべきだと考えている」と語った。奥野氏は立民の立場について「必要があれば改正も考えるが、改正ありきではない」と訴えた。

予算委は、新型コロナウイルス対策などをテーマに集中審議を実施した。与野党は終了後の理事会で、首相が出席する集中審議を7日も実施する日程で合意した。